

2024 年度通常（第 1 回）理事会議事録

1. 日 時：2024 年 6 月 15 日（土） 14：30 ～ 16：00

2. 場 所：日本青年館ホテル 8F ルームブルーおよび ZOOM を使用したオンライン会議

3 出席状況

出席理事 30 名

出席監事 3 名

出席オブザーバー 11 名

・日本青年館ホテル 8F ルームブルー

理事

馬場益弘、中村隆夫、富田三和子、船澤泰隆、安藤淳、望月宣武、中村和哉、古屋勇人、
秋田正紀、佐藤公俊、石川彰、伊藤亮一、村田光宏

以上 13 名

監事

上野保

以上 1 名

オブザーバー

浅田総務委員長、藤井ルール委員長、黒川国スポ委員長、久保田キールボート強化委員長、
中澤ジャパンカップ委員長、上野監事、多賀啓弁護士

以上 7 名

・オンライン参加（自宅）

理事

土肥美智子、萩原ゆき、宮野幹弘、尾形依子、長田美香子、鈴木祥子、濱野文、地川浩二、
鷹野淳子、吉田愛、井上貴支、川戸仁、西尾隆、平岡志帆、大槻映幸、五十川浩司、
田中葉子

以上 17 名

監事

紙谷雅子、鈴木保夫

以上 2 名

オブザーバー

松田財政委員長、平松事業開発委員長、大垣環境委員長、坂口外洋通信委員長

以上 4 名

議事の経過及び結果

対面開催と ZOOM 併用でのハイブリット方式で開催した。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に

伝わることを確認し、適時的確な意見表明がお互いに出来る仕組みになっていることを参加者各位に確認し、議案の審議を下記のとおり開催した。

(定足数の確認)

理事 32 名中、出席者 30 名により、定款 34 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

(議長による開会宣言)

定款 33 条に基づいて、馬場益弘会長が議長となり、2024 年度通常(第 1 回)理事会の開会を宣言し、議事進行を安藤淳専務理事に委任した。

(議事録署名人)

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、石川彰、伊藤亮一の両理事が任命された。

【審議事項】

1. 2024-2025 年度会長・副会長・専務理事・常務理事の選任(案)について

馬場会長から 2024-2025 年度会長・副会長・専務理事・常務理事の選任(案)について、資料に基づき説明があった。

定款第 22 条 2 項に基づき、会長は馬場益弘、副会長は中村隆夫、富田三和子、舩澤泰隆、土肥美智子の 4 名、専務理事は安藤淳、常務理事は、望月宣武、中村和哉、萩原ゆきの 3 名とする。第 21 条 2 項に基づいて、会長を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。また、経理規程第 6 条に基づく会計担当理事に地川浩二を選任すると発言があった。

満場一致で承認された。

2. 2024-2025 年度業務執行理事選定(案)について

馬場会長から、2024-2025 年度業務執行理事選定(案)について、資料に基づき説明があった。

中村隆夫、富田三和子、舩澤泰隆、土肥美智子、安藤淳、望月宣武、中村和哉、萩原ゆき、宮野幹弘、古屋勇人、尾形依子、地川浩二の 12 名を業務執行理事とすると発言があった。

満場一致承認された。

3. 2024-2025 年度顧問・参与・委員長・最高審判委員会・評議員選定委員(案)について

安藤専務理事から、2024-2025 年度顧問・参与・委員長・最高審判委員会・評議員選定委員(案)について、資料に基づき説明があった。

満場一致承認された。

4. オリ強謝金規程の連盟規程化、ユニフォーム規程改定について

中村健一オリンピック強化副委員長から、オリ強謝金規程の連盟規程化、ユニフォーム規程改定について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

5. ルールブック発行形態と価格について

藤井ルール委員長から、ルールブック発行形態と価格について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

6. 賛助会員制度の拡充について

中村副会長から、賛助会員制度の拡充について、資料に基づき説明があった。

本来であれば、協議事項から行うべきではあるが JSAF は年度単位での活動のため、次回理事会が開催される 9 月まで待ってしまうと募集期間が半年しかなくなってしまった。なるべく早めに行動したため、今回一発審議でお願いしたいと発言があった。

古屋理事から、JSAF の規定上、一発審議について問題はないかと質問があった。

中村副会長から、規定上問題はないと回答があった。

安藤専務理事から、JSAF は従来、規程の改訂は協議、審議を行う運用としてきている。但し、今回のような緊急的な案件もあるので、今後ガバナンスコードに沿って運用基準を明確化していきたいと補足説明があった。

井上理事から、外洋艇の有力なチームから寄付をいただくことについてチームに何のメリットがあるか教えて欲しいと質問があった。

中村副会長から、規程の中に記載があるが、J-Sailing の送付、J-Sailing と連盟の HP にチームのロゴの掲載、イベント事などへの招待があると回答があった。

満場一致で承認された。

7. 支援寄付金取扱申請書（日本レーザークラス協会、神奈川県セーリング連盟）について

浅田総務委員長から、支援寄付金取扱申請書（日本レーザークラス協会、神奈川県セーリング連盟）について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

8. 2026 年アジア大会の種目選定について

安藤専務理事から、2026 年アジア大会の種目選定について、資料に基づき説明があった。

JSAF は艇種を提案出来るのみで、決定権は組織委員会、アジアセーリング連盟であると説明があった。

望月常務から、アジア大会は、これまでオリンピック艇種 7 種目とその艇種に対応するユース艇のセットで開催している。このほかに、男女カイト種目、ナクラがあるが 2028 年のオリンピックまでの開催が決まっているが、2032 年の開催種目になるかは不透明であるため、今回のアジア大会からは外そうと ASAF、JSAF、組織委員会が協議し開催費用なども考え不採用に決まった、と補足説明があった。

中村副会長から、アジア大会にパラ競技は入らないのかと質問があった。

望月常務から、オリンピックとパラリンピックのように、アジア大会もアジア大会とアジアパラ大会が存在する、2028 年のパラリンピックでセーリングが外されてしまったため、2026 年のアジアパラ大会でもセーリングは採用されなかった。インクルーシブと言う観点でアジア大会の種目にするか OCA、組織委員会と協議したが、2 つの物を混ぜることにに関して様々な面で抵抗があり非常に難しいと補足説明があった。

萩原理事から、望月常務からの説明でパラセーリングが外された経緯がわかった。正式種目でなくてもインクルーシブな大会の開催できるよう引き続きご協力をお願い致しますと発言があった。

満場一致で承認された。

【協議事項】

1. 運営規則の改訂（加盟団体規程新設）について

安藤専務理事から、「運営規則」改訂（加盟団体規程新設）について論点整理が出来ていないため、次回理事会で協議させていただきたいと説明があった。

次回理事会で引続き協議することとなった。

2. 連盟名称／呼称変更について

中村副会長から、連盟名称／呼称変更について資料に基づき、説明があった。

この件に関しては、1 年程度時間をかけて議論していきたいと発言があった。

望月常務から、ISAF が World Sailing に変わったのは 2019 年だった。今でも大陸連盟では SAF を残している地域が多い。問題なのは S の頭文字を使用しているスポーツ団体（サッカー、スキーなど）が多いため JS とした場合、他のスポーツとの識別がどうなるのか現状わからない。

世界を見ると World Sailing は WS を名乗っているが、WA については、世界陸上連盟と世界水泳連盟が争っている。J については世界を見ても 3 か国（日本、ジャマイカ、ヨルダン）しかなく J の

イメージは日本が強いため他者との競合は少ないと考えたと発言があった。

富田副会長から、名称変更を行うと大きな出費になると思う。現状の経営状態が良くない状態なので1年ではなく、もう少し長いスパンで検討した方が良いのではないかと。

船澤副会長から、JSを名乗る場合は商標登録など、なるべく早めに行ったほうが良いのではないかと。

中村副会長から、JSの商標登録はしていないが、J-Sailingの商標登録はしていると回答があった。

安藤専務から、今後議論を重ねて結論を出したいと発言があった。

【報告事項】

(1) 業務執行理事報告（江の島 OW 報告、経営企画室報告他）

中村副会長から資料に基づき、江の島 OW、経営企画室についての報告があった。

望月常務理事から、経営企画室の情報プラットフォーム構築の件について詳細説明があった。

中村副会長から、委員長会議を1ヶ月以内に1度開催する予定である、委員長会議で各委員会の業務などを横のつながりを深めたいなど報告があった。

(2) 愛知名古屋アジア大会準備状況報告

安藤専務理事から、資料に基づき、愛知名古屋アジア大会セーリング競技実行計画進捗状況、アジア大会のテストイベントの有無について早急に決定する必要がある、との報告があった。

(3) オリンピック強化委員会報告

中村オリンピック強化副委員長から、資料に基づき、オリンピック強化委員会報告費用補助ガイドラインの改訂、Paris2024 本大会に向けたチーム編成などについて報告があった。

(4) ルール委員会報告

藤井ルール委員長から、資料に基づき、2024 年度 IJ/IU 候補推薦委員会の構成について報告があった。

(5) 普及指導委員会報告

坂口普及指導委員長から、書面にて普及指導委員会の活動報告があった。

(6) 通信委員会報告

坂口外洋通信委員長から、資料に基づき、通信委員会報告があった。

(7) パリオリンピック競技日本代表選手団激励壮行会

富田副会長から、資料に基づき、パリオリンピック競技大会セーリング競技日本代表選手団激励
壮行会の参加申込を延期したので、参加希望の方はご参加をお願い致しますと報告があった。

- (8) 2024 年度行事予定
- (9) 2023 年度メンバー登録数(5 月 31 日現在)
- (10) 2024 年度臨時第 1 回理事会議事録 案 (5 月 25 日)
- (11) その他

代表者名変更届（栃木県連、東京ヨットクラブ）
スポーツ活動における熱中症事故の防止について（依頼）
ボートショー2024 行事終了報告書

上記の項目について、寺澤事務局長からまとめて報告があった。

以上をもって、オンライン会議システムZOOMを使用し終始異常なく、議事全てを終了したので、
議長は16時00分に閉会を宣した。

2024 年度通常（第 1 回）理事会は、上記の通り同意ならびに承認されたことを確認し、議事録署名
人は以下に記名・捺印する。

2024 年 6 月 15 日

議 長	会 長	馬 場 益 弘
議事録署名人	理 事	石 川 彰
議事録署名人	理 事	伊 藤 亮 一
	副 会 長	中 村 隆 夫
	副 会 長	富 田 三和子
	副 会 長	舩 澤 泰 隆
	副 会 長	土 肥 美智子
	専務理事	安 藤 淳
	常務理事	望 月 宣 武
	常務理事	中 村 和 哉

常務理事 萩原 ゆき

監 事 上 野 保

監 事 紙 谷 雅 子

監 事 鈴 木 保 夫